

公立一般選抜に出願予定のみなさんへ

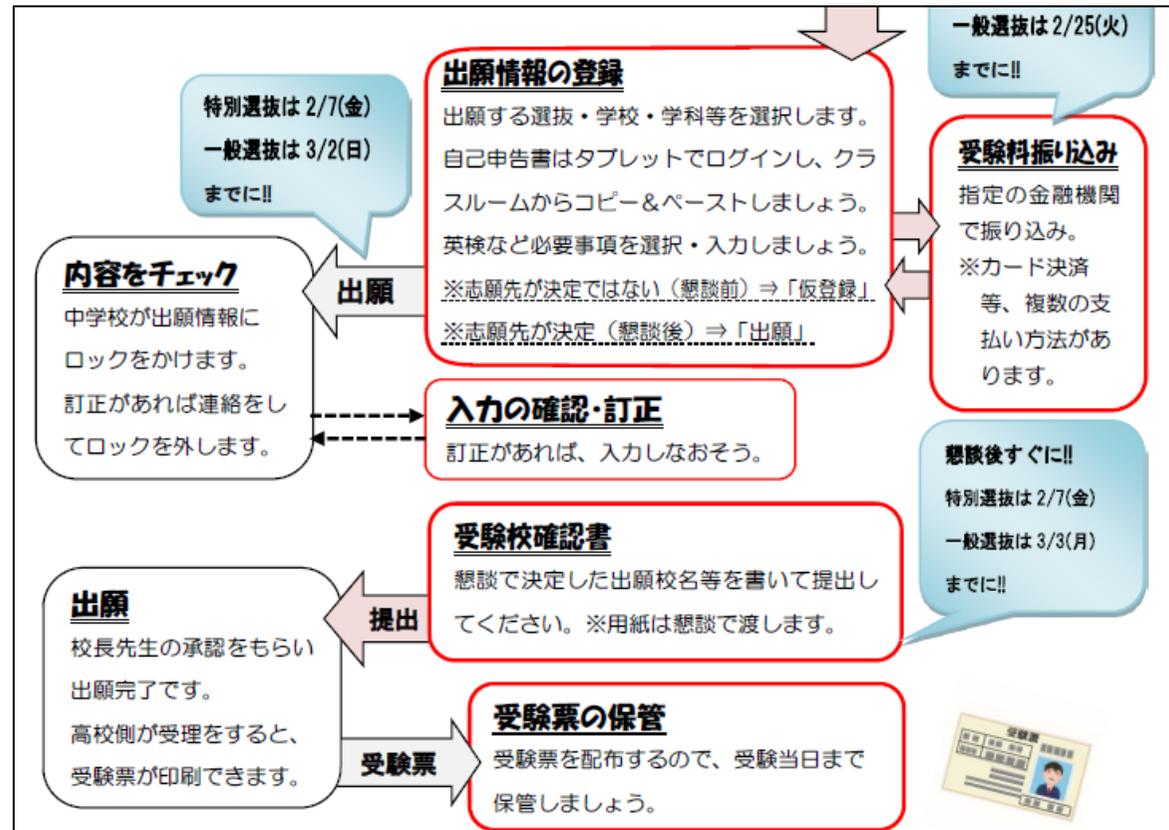
①一般選抜入試の出願準備をしよう！

オンライン出願システムにログインし、出願情報（出願志望校・自己申告書・英語検定の活用・答案開示希望など）を入力して「仮登録」してください。また、保護者の方に受験料の振り込みをしてもらいましょう。

どちらも2月25日(火)までに行い、26日(水)からの懇談で担任の先生に確認してもらいましょう。

そして、出願先が決まったら出願校を選び直し、「仮登録」から「登録」に変更しましょう。

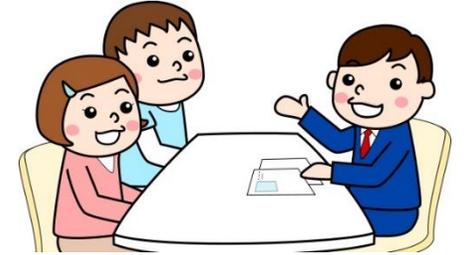
※自己申告書がまだ完成していない人は、そろそろ完成させましょう！



②懇談で話すことを事前に考えておこう！

来週26日(水)～28日(金)に一般選抜懇談会があります。

今回の懇談での1番の目的は「一般選抜での出願校の決定」です。進路希望調査や、担任の先生との面談で志望校については考えているとは思いますが、必ず保護者の方と事前に相談しておきましょう。



懇談の場で受験校が決定できることが最善ですが、その場で決めきれない場合はいったん持ち帰って決めてもらうことも可能です。出願期間は3月5日(水)～7日(金)ですが、原則、持ち帰った場合も3月3日(月)までに出願校を決めてもらい、オンライン出願システム上で「出願」の状態にしてもらいます。その後、中学校での確認をして、3月5日に一斉に出願します。(事前に出願システムで「出願」の状態がかつ、中学校での確認が済んで承認されたものが、5日9時に一斉に出願されます。)この場合、中学校ごとの出願となり、受験番号も中学校ごとでまとまります。もし、出願が遅れてしまうと、他の南中生とは受験番号が離れてしまいます。なので、できるだけ3月3日には出願校を決めましょう。

また、この出願期間中は高校ごとに出願を受理した数がオンライン出願システム上(教師用のページのみ)に掲載されます。そのため、出願1日目・2日目の出願数をみてから出願先を決めることも可能です。ただし、出願数をみてから決めることは、受験番号が離れる以外にもデメリットがあります。他の受験生も同じように出願状況をみて志願先を決めることができるため、自分が出願を待っている間に自分の第一志望校に出願先を変える受験生が出てくる可能性があります。また、そうしている間に余計に出願先を迷ってしまい、決めづらくこともあります。判断を遅らせることのリスクも考えて、出願日を決めましょう。

※もし、出願最終日の7日(3日目)まで出願状況をみてから決める場合は、7日に保護者の方にも来校してもらい、学校で担任の先生とも相談しながら決めることとなります。

英語資格の活用を考えている方へ

英検2級以上を持っている方は、英検の証明ができるもの(合格証明書などの名前と何級かがわかり、合格だとわかるもの)を懇談時かそれまでに学校に持って来てください。